

平成25年度 第3回鳥取市景観形成審議会 議事録 要旨

日時：平成25年9月4日（水）15：15～17：03

場所：鳥取市役所本庁舎4階第3会議室

審議委員 芦澤喜武委員【会長】、中橋文夫委員【副会長】、平井覚委員
来田裕子委員、池本義隆委員（欠席）、松島勇委員（欠席）、西山靖代委員
竹内秀徳委員、房安一也委員、平尾司砂委員、木下正昭委員、飼牛明委員（欠席）
事務局 鳥取市都市整備部 大島英司部長、都市企画課、国森洋次長兼課長
山本勝信景観形成係長、本部良技師、廣谷一茂技師
都市環境課 綱田正課長、坂本武夫主査兼係長
企画調整課 枅谷承文係長
大阪滋慶学園 鳥取市医療看護専門学校開設準備室 事務局松田晃次長
白兎設計事務所 熊澤幸秀取締役設計部長
鳥取環境大学生 2名

■ 審議会の経過

1 開 会

2 あいさつ

(1) 市長あいさつ

(2) 職員紹介

3 議 事

(1) 会長・副会長の選出について

4 報告事項

(1) (仮称)鳥取市医療看護専門学校に関する基本設計について

(2) 鳥取駅北口風紋広場モニュメントについて

(3) 鳥取城跡周辺地区等における地域資源の観光資源化に関する市民提案の応募状況について

4 その他

5 閉 会

■ 議事内容

3 議事

会長・副会長の選出について

互選により会長を芦澤委員、副会長を中橋委員に決定した。

4 報告事項

(1) (仮称) 鳥取市医療看護専門学校の概要について

※白兔設計事務所から資料1を用いて報告：略

来田委員) 自転車置き場はありますか？

滋慶学園) 駐輪所や駐車場はありません。公共交通機関を利用するよう指導すると、自転車は隣の鳥取駅高架下自転車駐車場を使うよう指導します。

来田委員) JR側からの入口はありますか？

白兔設計) JR側に学校登下校出入口を設けているので、そちらから出入りできます。

来田委員) 1階のワシントンホテル側の道路からは外部の人間が自由に出入り可能なのですか？

白兔設計) 歩道との段差は今と同じような高さなので直接敷地に入ることはできませんが、表側の階段とか裏のJRさん側の敷地からは入ることは可能です。

木下委員) L字型になっているスペースが130㎡少しありそうなので、6層ですから820㎡ほどあり、その部分の形ができることなら、1階か2階におさえて、上になにもない方が駅前の広場としてはゆったりと広がって見えると思います。その減った面積はホテル側に1階を通路として、2階以上を建物に使えば同程度の面積は確保できるので、いろいろな規制はあるかと思いますが、私が設計していたらそういうふうにと考えるとしました。

白兔設計) おっしゃられる意味はよくわかります。なるべくエントランス側は多く開けるように考えております。どうしても敷地面積と学校としての必要面積があり、いかにコンパクトにまとめるかということで検討した結果でこのような形になっております。

芦澤会長) 「緑視率が高められています。」と書いてあり、その後緑化率6.9%と書かれてあります。緑化率と緑視率という言葉が出てきますが、緑化率というのは緑被率という意味ですね？緑視率というのはどういう意味で書かれたのですか？

白兔設計) 緑視率というのは見目で緑が多く見えるという意味で書きました。風紋広場から見ると多く植栽がしてあり、樹木が見える状況にあります。

芦澤会長) 緑視率というのは見目の緑が豊富に見えるということであって、どういう木を植えるのがいいかということ、高木がいいのです。その辺を考慮してもっと緑を植える

ところがあるのではないかとと思いますが、中橋副会長どう思われますか？

中橋副会長) 建物を緑で隠すというのではなく、緑があるから建物が活きるわけですし、緑が多くあると駅からの風景が良くなるということです。つまり、どういう木を置くのかがポイントになります。例えば落葉樹なら葉が落ちます。そのような変化を建物を背景にして、シルエットとして提案してもらえないかということをおっしゃっています。正面からの絵を書いていただいてどういう木がいいのかなあというのを考えてほしいと思います。

芦澤会長) なるべく景観に配慮してやるのではなく、景観を中心にして設計してほしいと思います。これは学校の顔でもあるので外観にもこだわって設計していただくと学校のアピールにもなるという考えを忘れないようにしてほしいと思います。

中橋副会長) 1階のエントランスホールは非常に広いですよ？緑化率6.9%をうたわれていますがこの植栽の位置だと寂しい感じがします。これは医療系の建物ですので癒やしがいだと思います。ですからエントランスホールの左右の壁面をグリーンアトリウムなどにできないのかなと思いますので、検討していただければありがたいです。それとできれば屋上緑化も検討していただければと思います。他に建築のほうで気になるのは、屋上からトップライトで光をストーンと落とす方法とか無いでしょうか？もし検討できるのであればあまり無理は言いませんがお願いしたいと思います。

来田委員) オープンスペースとまでは言いませんが、施錠を完璧にしてしまえば敷地内を開放できると思います。緑地もあるのでベンチを置くなりして、学生だけでなく市民の憩いの場にしてもらえると嬉しいです。

芦澤会長) ワシントンホテル側の道路から建物までは何mありますか？

白兎設計) 配置図に記載されている斜線の部分は3車線の左のレーンに取られてしまうところですので、その左レーンから建物まで4mほどあります。

芦澤会長) 4mあるのであれば、この中に高木を配置すると普通の道から入れるというわけです。県民文化会館前の歩道のように木を植えているような感じのことを来田委員はおっしゃっています。ですからそういう風にしていただくと道路も広く感じて非常にいいなと思います。

芦澤会長) 他に意見がなければこれで終わりにしたいと思いますが、今でた意見を十分検討して、次に出される申請の際にはよろしくお願いします。

事務局> 今後看護学校の件ですが、建築確認申請が出されると思います。もしその中でなに

かありましたら、事務局と会長、副会長の方で相談させていただいてこの件についてはそのように進めさせてもらってもよろしいでしょうか？

各委員) はい

4 報告事項

(2) 鳥取駅北口風紋広場モニュメントについて

※事務局から資料2を用いて報告：略

房安委員) 故障により稼動していない状態で市民に認知されているというのは、おかしいことのように思えます。時計が動いたり鐘が鳴ったりする状態が市民にシンボルとして認知されているのであって、故障している状態で認知されているとは思えません。やはり県にきちんと修繕してもらい、まともな状態で市が引き継ぎ、維持管理していくほうが私はよいと思います。

芦澤会長) その通りだと思います。僕はそれほど市民に故障している状態で認知されていると思っていません。風紋広場に時計のモニュメントがあるということは皆わかっていますが、モニュメントが時間を知らせるだけしか知りません。実際はそれほど皆が景観上の重要なモニュメントだと思ってはいないと思います。そういったところで長年ある物ですから、景観上皆が見てよくなったなという風にして整備して、使っていくことをしなければなりません。壊れた状態で放置するというのはありえません。モニュメントの位置を変えるとかそういう考えはありますか？

事務局> 風紋広場の平面図をご覧くださいますと、ステージと時計との間の路面に風紋のデザインがされていますので、我々が引き継いだ途端に移動させるのはいかがなものかと思います。可動部分のことですが、例えば今鐘の音でイベントがスタートするとかそういうことがされていない中で、一回壊れているものですから、10年経ってまた壊れましたというのはいかがなものかと思います。ですので、本当に鐘を鳴らす必要があるのかは広い意見を伺いながら考えていくべきかなと思います。また、モニュメントとして景観をつくるところに可動部分が本当にいるのでしょうか？また、可動部分が必要であるか無いかというレベルであれば、斜めに風紋が流れている広場全体のデザインそのものを考えるかどうかということまで4月までの短期間に意見を伺えるほど安易なものだろうかと思慮ところでございます。

中橋副会長) これはいわゆる一昔の文化の遺産です。ここで考えることは、時計もアーチもいつか必ずメンテナンスの耐久性が来てやりかえることになります。それを腹くくるか、形だけのシンボリックなデザインだけでいいと割り切るかどっちかだと思います。ですからこれからの景観計画の中でこの稼働式のやつをどうするかという考えをまとめるべきだと思います。

芦澤会長) 駅前の広場を含めて検討委員会をつくって改めてやり直すとか引き継ぐとかいったことを協議してみてもいいかですか？

木下委員) おしどりアーチというのはコンサートの時にじゃまにならないのですか？

事務局> 演奏中に音がなったりして邪魔だという声もありました。

木下委員) 演奏中は鳴らないようにすればいいと思います。おしどりアーチと時計は対になっていて、場を形成しているものだと思います。ですから私は形としてはあったほうがいいと思います。ただしどのくらい危険なのかは私にはわかりません。

事務局> アーチ自体は残す提案をさせていただいております、アーチに付属している鐘の付け根が腐食して危険ということです。

また、平成12年には既におしどりアーチの可動部分が故障していました。県もその間何回か修繕したと聞いています。ですが8年で歯車の機械の部分が腐食等の状態で壊れてしまいました。それで今回提案したのは、全部県に直してもらって引き継ぐというのも1つの案としてはあるかと思いますが、危惧しているのは新品で8年後に故障ということで、今回直したとしてもまた同じような状況が発生するのではないかということです。その当時の修理費が安いものではないようなので、8年や10年サイクルで何百万円ずつかけるかどうかということが一つ。それとも今回提案させていただいておりますが、可動させる物としては見ず造形物としてデザインを残していくのはどうでしょうか。ただ、時計に関しては元々はロンドンとか外国の時間を知らせるものですが、はたしてこの時間が何を知らせているのか、故障しているのではないかという当時の声もありました。その意味で、時計は日本時間で表示したいと思います。

西山委員) 鳥取はまちなかに市民が憩いの場とする公園が少ないですね。ですがこの広場には市民の方が利用されているので残してほしいと思います。鐘が腐食すると危ないのでそれは撤去したらいいと思いますが、時計の方も広場としての機能を持っているというのであれば、こういう時間を表示していますよというような、人を集めるようなPRの工夫をされたらいいと思うので日本時間に拘る必要はないと思います。

芦澤会長) 広場はなくしません。後で検討委員会をつくって検討してみてください。

4 報告事項

- (3) 鳥取城跡周辺地区等における地域資源の観光資源化に関する市民提案の応募状況について

※鳥取環境大学生から資料3-1を用いて報告：略

西山委員) 全体的にどういうふうにして欲しいのかわかりません。今あるもののここがいけないと指摘をするのは簡単ですが、じゃあ鳥取らしいものは具体的に何かというものが提案されていません。また、カフェという言葉がたくさんでてくるが、あちこちにカフェばかり…たしかに鳥取で勢いのあるカフェは何店舗もありますが、店の経営と人気があって初めて人が集まるカフェが出来るわけで、カフェを出したら人が来るだろうというわけではないわけです。まず市として計画してやっていくのであれば、市から補助金が出なくても、仲介で活性化するために空き店舗を借りて行く努力が必要だと思います。オープンカフェでするのであれば、例えばまずテントで頑張ってみて集客の状況を見てから箱物を建てるほうが現実的だと思います。デザインについては専門の分野ですからそれなりに出来てくるのですが、石碑の部分が置いてある場所がマッチしないということが有りましたが、これも考えなしで置いてあるわけではありません。設置者が何らかの考えを持って置いているものだと思うので見直したほうが良いと思います。あととりぎん文化会館前のことですが、レストラン等がメニュー的なもので入っていないのか、場所的なもので入っていないのかを確認してからもう一度考えられたほうが良いと思います。あと足湯で人が集まるのか疑問であることと、2 に書いてある県庁の横に木が植えっぱなしになっているというのは植え込みのことですか？神社のことですか？ここにカフェを置くんですよね？

環境大生) カフェを置く場所は神社の横のスペースです。

西山委員) 県庁横のスペースですか？北側の建物と神社の間ですか？

環境大生) はい

芦澤会長) とりぎん文化会館前のオープンスペースに足湯は作らないほうが良いと思います。あそこにはなにもないからこそ空間が広々として歩道も伸びやかでいいのです。

西山委員) 人が集まるということでデザインをしていこうっていう話しならわかりますが、集客がメインなのか、景観がメインなのかそこを含めて説明をお願いしますか？

中橋副会長) 誤解があるようなので説明させてください。この市民提案募集があった時に、我々はプロジェクト研究をしていて、教育の一環として提案してみようと思いましたが。つまり調査してアイデア出して、学生の目から見るとこういう提案がありますよっていう報告です。さっきからおっしゃられているカフェというのは、資料裏面の(3) 観光公園として再生のところに図面有りますよね、ここに一箇所だけカフェを作ったらどうかなという提案です。なぜかというと、神社の右側のところがかなり植栽の統一感がなくて閉鎖した空間なのです。実はここから久松山を見ると抜群な

ビスタ効果が出るということが分かりました。そしたら久松山を見渡せるスポットライトとして、ここにカフェをおいたらどうかという提案なのです。これも都市公園の活性化という考え方で提案させていただきました。

あと我々学生が目をつけたのが町名なのです。桶屋町など面白い町名があるので、例えば桶の格好したものとか何か空間のデザインが出来ないかなと思います。実用化されるかどうか別として、こういうディティールのデザインが出たということはいずれどこかで議論や企画していただければ嬉しいです。しかしこれが我々としても満足行くものだと思っはいませんが、あくまでも教育の一環として提案させていただきましたのでそういったスタンスで受け止めて頂けないでしょうか？

芦澤会長) 厳しい意見が出ましたが、これに懲りずまた挑戦してください。

4 報告事項

(3) 鳥取城跡周辺地区等における地域資源の観光資源化に関する市民提案の応募状況について

※事務局から資料3-2を用いて報告：略

芦澤会長) これ以外にも他に提案がありましたよね？

事務局> 久松山トレッキングコースの整備ほか2件でています。

芦澤会長) そういったものをきちんとまとめて、色んな意見が出る中それを具体化して、どうするかを考えなければいけません。出来ることと出来ないことがありますので。それで民間のほうでやらないといけないことが殆どだと思います。

事務局> 鳥取の場合、鳥大、環境大の2つの大学があって、街づくりにどうやって学生さんの活力を導入するかというところで今日はお時間を頂きましてありがとうございました。今までに5件出た中で、「実際観光客を相手に商売されている方」、「昔から地元で地域づくりをされている方」、「社会人としてイベントの実行委員をされておられる方」、「今回の学生さん」、「観光ガイドさん」と、様々な方から意見が出てくる一方で、いただくのは手描きで十分なのですが、地図描いたりするのは苦手と感じられるのか、文章で書かれる方が結構おられるなど感じております。やはり我々のほうがご意見をいただいたものを図に起こして、さらにご意見を集めるという手順を踏まないといけないなというのが我々もやっと実感を持ってきました。ですから皆様がこういったところを提案されたんだろうなというのを図面の上で整理して、またキリの良い所でご意見をいただくことを考えております。市民の方にフリーハンドで意見を伺うと、こういう意見が届きますというのをホームページ等でも公開させていただいて、それを材料に次の取り組みの進め方を考えて行きたいなと思っております。

芦澤会長) 以上で審議会を閉会します。